

ウグイ捕り ～お父さんの網を引き継いで～

大西 学さん



1. 子どもの頃

生まれも育ちもずっとここ、大杉育ちやな。大正 15 年生まれやでもう 90 歳になる。通ったのは大杉小学校。小学校に入学した時は 60 人以上同級生がおった。クラスは一クラスだった。わしらは高等 2 年でもう働く先は決まっとった。わしは山へ行った。ここらは何もすることあらへんで、夏は川行く、冬は山や畑する。そんな暮らしやわな。

2. 子どもの頃、お父さんで行ったウグイ捕り

わしら学校行つとる時分からしゃくり（*1）でアユを捕っていた。昔は川って言ったらみんな夢中やった。一番はアユ捕りやな。その時分は何もすることなかったでな。川へでも行つとらな。わしらの頃はみんな川の事は大概のことをしとるわな。ここらにいる年寄りみんなしとるわ。

お父さんは重蔵って言う。子どもの頃からウグイ捕りをしていた。わしは学校上がったからお父さんと一緒によくウグイを捕りに行った。ウグイが捕れるのは 5 月から 6 月いっぱい。ウグイが一所に寄って産卵をするのを「つきウグイ」って言う。災害（平成 16 年の台風災害）まではそこら中ウグイがつきよった（産卵のために寄ってきた）。

ウグイを捕る網は投網でな、投げて広がると 6 畳ぐらいの丸に広がる。一回投網を投げると、多い時は 200 匹、覚えがあるのは 500～600 匹も入った。昔はようけ（たくさん）捕れた。お父さんの頃は一日で何千て捕りよった。5 人ぐらいのグループでな、分けて持って帰った。わしの折はウグイ捕りをする人もそんなにおらんだで、グループでするほど人は集まってこなかった。災害からこっち、ウグイが少なくなったが、昔は桧原の橋の下にようけつきよった。昔の川、見たらびっくりするわな。

（*1）しゃくり 竹竿の先に付けた一本針を魚の体に引っかけて捕る漁法。

3. 学さんのウグイ捕り

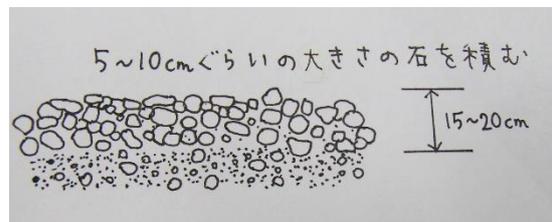
わしはウグイ捕りが一番得意だったな。ウグイの投網を始めたのは、わしが 35 歳の時にお父さん死んでからやでな。ウグイ捕るのは網が無かったらできんでな。子どもの頃はしゃくりでアユ捕るのはおったけど、ウグイ捕りは大人になってからやわ。鮎捕りは大人やったら誰でもするが、若い人でウグイ捕りじっとしよったのはわしぐらいやったでな。

お父さんの時分はそこら中、自然とウグイがつきよったけど、わしの折にはそれほどではなかった。せやで、ウグイの巣（産卵場所）をこしらえてするんさ。

4. 習性を利用したウグイ捕り

アユは上ってきてな、場所をとって（縄張りを張って）そこに棲みつくやろ。ウグイはここって棲みつかん。ここにおったり、あっちにおったり。ここでウグイがつきそめると、下の方に水が流れるやろ、それで下におったのも上ってくるんやわ。みんな卵を産みに集まってくる。せやでな、ウグイのつくところをこしやえるんさ、せやで間違いのうつくんやわさ。

床(川底)が細かい砂地やったら絶対つかんの。床が最低でも5~10cmの石んところにする。産んだ卵がな、下へ入ってかんことにはあかんの。この大きさの石（5~10cm）を15~20cm積んでな、ガンガンって叩いて馴染ませる。床が大きい石のようけの所はな、石をいっぺん掻いてどかしたってな、大きな石を下にほりこんでならしてな、その上にむいて5~10cmぐらいの石を入れる。そうせんことにはつかん。卵、産んだ場所を掘ったらな、玉になって卵があるん。わしらはウグイ捕りたいでそう卵は掘らんけどな。



ウグイの産卵床づくり

深さはどれだけでもいい。昔、わしがお父さんについて行った時分はな、見とつても床が分からんぐらい深いところへつきよった。この投網の長さ（約2.5m）いっぱいぐらいの深いところでもな、ええところあったら自然とつくわけなんさ。深いところには巢は作らん、よう作らんもん。お父さんがしとつた時分は、巢作るってえろうせーへんだ。つきよったでなちよこちよこと。わしらはな、そんな深いところかなわんもんでな、浅いところでやった。

流れはあんまりな急なところはえろ一つかん。急なところしたって流れてくやろ、ウグイもようおらんし、卵も流れてつたらあかんし。アユはな、竿、持ってつたら捕れるけどな、ウグイ捕りするんやったら、浅いところへむいて巣こしやえてな、そうすると間違いなくつきよった。多いおりは1000~1500匹やな。ウグイついたの見たら綺麗なもんやよ。体、赤こうしてな。そこに1日に何遍も網を投げて、じつと捕りよつてん。ウグイ捕るのは難しいよ、アユ捕りの方が難しい。

5. 投網の投げ方

網の持ち方は、イワ（重り*2）の一部を肘にかけてな、反対の手で残りの網を半分くらい手繰った所で持ってな、腰をひねって横から投げるんさ。ウグイがいるとこむいてな、重りついとる下の方がパーって丸く広がるんさ。わしらはあかんのやわ、遠いところへ投げる折、力入れて投げるやろ、そうすつと広がらん。丸やなしに長細くなる。投げるのでも力ないで、手でばっか投げるやろ。昔の人は、手やない、腰でぱつと投げるでな。コツがある。

始めに網を投げるまではな、そこらジャボジャボしてもウグイみんなも逃げせんよ。立って待つとると、またねき(近く)へ寄ってくるもんな。卵を産むのに夢中なんやろうな。多い時は1回放ると200匹ぐらいは捕れよつたよ。

ウグイを入れるカゴは、昔は竹で編んだやつでな、あんなやつはもう無いようになったでな。カゴに500匹ぐらいは入るもんで、それぐらいウグイ捕って持って来よつたでな。帰る途中で欲しい人は持ちにくるで、家へむいてそんなにも持ってこんけどな。

(*2) イワ（岩） 網につける重り



投網の持ち方



学さんのウグイ捕り風景／桧原橋の下にて
(平成16年の台風災害前に撮影)



学さんが最近までウグイ入れに使っていたカゴ

6. 絹糸製の投網とナイロン製の投網

絹糸の投網はわしとこのお父さんがな、死ぬ前にこしやえた(作った)やつや。せやでこれはずいぶん前のものや。60年ぐらい前のやわ。まだ上等に使えるんやな。

死んだお父さんの投網な、繭から糸こしやえて、作とつた。昔は繭を湯で煮といて、端っこ出して、何本何本ってして(何本かまとめて)さ、回すやつ(糸を撚る道具)あるやろ、それを回して撚りかけて、糸こしやえてな、そいで作ったんや。みんな編んでな、一目ずつく



お父さんが作った絹糸製の投網

くって。これ手でしょうと思ったら大変なんやで。

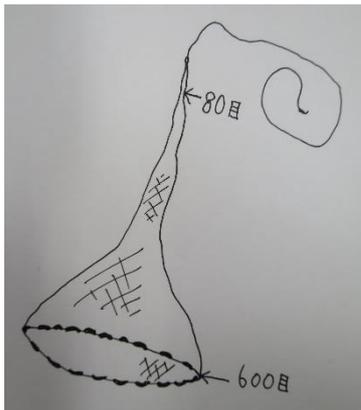
こんだけの網や（長さ約 2、5m）、始めは 80 目ぐらいで、一番下では 600 目になるん。だんだん目を増やしてくん。目が一つから二つになつとるとこあるやろ。そうやって増やしてくんさ。

やがてウグイつく時分にな、柿の渋、あれに浸けて干すとシャンシャンになるんさ（網に腰が出る）。1 回投げただけでは渋は流れんけど、ウグイ捕るんやったら 5 偏も 6 偏も投げるで、渋が落ちてへなへなになる。置いとく（しまっておく）のに渋しとくと、網ボロボロになってくん。置くんやったらな、渋せんと置かなあかん。

ナイロンの網はわしが 60 歳からこっちのもんやな。ナイロンの網は円錐形の形で売つとるのを買って、裾の袋のところはわしがこしゃえたんさ。重りもこしゃえてつけて。それまでお父さんの網を使こうとったんや。

投網はな、裾を袋状にしてあって、ここへむいてウグイが入るんやわ。刺し網ってやつは、網の目へかかるけどな、投網はこの袋へ入るんさ。

ナイロンのも絹糸のも、放る（網を投げる）のは一緒なんやけどな、手触りが違うやろ。絹糸のは柔らこう感じるやろ。絹糸やで値打ちあるでな。



ウグイの投網の形



投網の裾の袋状の部分

7. 見よう見まねで覚えた網直し

網直しはな、わしもあーしたらええ、こーしたらええーって習わんとやつとるんさ。網を我がと作るの、人にしてもらったら銭かかるでな。我がとしたらかからんでな。



イワ（重り）を作る型

網につけるイワ（重り）はお父さんがしとった。それでわしもこしゃえたんさ。型に鉛を溶かしてイワを作るんさ。

型は砥石を削って、二つ合わせてイワの形になるようにしてある。網に通すための穴はな、和紙の紙繕り（*3）を使った。型に合う太さの紙繕りを通しておいて、2 枚の型を合わせてな、穴から鉛を通して（流しいれ）、鉛が型いっぱいになると、ぼわっと穴から出てくる。じきに上が

白くなるから、和紙を引き抜いて型を外した。そうするとイワができた。

一反(*4)するのにな、ずいぶんいるんやぞ。100個ぐらいいる。イワ作る型は、わしが子どもの時分にはあったんやわ。わしはやがて90歳やでな、大方100年ぐらい経つとるとちやう。ここらの人はこういうことはたいがいしとる。誰に聞いても同じような事を言うと思うよ。

ここら、アユ捕るのに刺し網(*5)で巻いて捕るやろ。

そういう網を直したり、買うてきた網を作り替えるんさ。売つとる網は、上と下と同じ長さの長方形しとる。せやけどそのままは使えんの。下より上をちょっと短こう作り替えなあかんの。網を台形にせんことには、川、入れた折にぺたんとこけてくるんやわ。アバ(浮*6)付いとっても浮かんの。

買うてきた網でな、30mの長さの2つとれるでな。それを下に鎖つけて、上にアバ付けてな、それがめんどくさいんさ、それをいちいちくくらなあかんでな。浮はな、木のアバ(浮)こしゃえて、上につける。みんな買うてきた丸いウキにしとるけどな、わしあんなん嫌いやから、今までみんな手作りしてる。アバは長さ15cmで厚み1cmぐらいの作るんさ。

今年も5月頃から網作るん。4つばかり頼まれとるんや。もうえらいで(大変だから)、えろーしたないんやけど、頼まれるもんで、しゃーないしな。

(*3) 和紙を細長く切って、よりをかけてひも状にしたもの。

(*4) 一反 布の大きさの単位 一反=長さ約12m50cm

(*5) 刺し網 網目に魚の頭部を入り込ませる網

(*6) アバ 網に付ける浮の事



学さん手作りの木製のアバ(浮)



重りに穴を空けるために紙縴りを溝に入れる



アバ(浮)

刺し網、上に付いているのはアバ(浮)